

＜ひたちなか市介護サービス事業者連絡協議会 様＞

上映日:2024/1/25(木) 場所:那珂湊総合福祉センターしあわせプラザ ふれあい交流館(茨城県ひたちなか市)



実話を基にした、当事者目線で希望に満ちた映画

●上映会を開催するに至った経緯を教えてください。

複数の事業所が連携して開催に向けて取り組むことで、事業所間の連携強化や交流に繋がりたいという目的で毎年イベントを企画しています。今回認知症をテーマに選んだのは、認知症基本法が制定されたことや当市でも若年性認知症の方と関わる事例があることから、映画および原作者や当事者の想いを通して、より認知症についての理解を深め、普段の業務に活かしていくためでした。

●実行委員会は、どのようなメンバーでしょうか？

弊会の役員および会員事業所から選出しました。

●資金はどのように捻出しましたか？

茨城県からの補助金および企業・法人からの協賛金を取得し、上映費用、会場使用料、パンフレット・チラシ・ポスターおよび記念品の作成費用に使用しました。

●地域の方や関係者にどのように告知しましたか？

弊社会員事業所へのチラシ送付、ポスターの設置依頼、ひたちなか市報への掲載、地方紙(茨城新聞)への広告掲載、弊社ホームページおよびSNS(Facebook、Instagram)

●上映会当日の様子や、上映会開催の感想を教えてください。

アンケートでは、当事者目線での作品であることに触れる声が多かったです。他、当事者は何もできないわけではなく可哀想な存在ではないこと、周りに助けを求めることの大切さなどが多く挙がっていました。希望に満ちた映画であると、好印象を受けた方がほとんどです。

●上映会の準備や開催など今回の活動を通じて、地域作りや今後の活動に繋がったエピソード等があれば教えてください。

トークゲストにお招きした若年性認知症当事者の方と新たに繋がることができました。また、イベント実施に

向けて各実行委員が意見を出し合い、各事業所の枠を超えて協力して準備を進めたことで、事業所間の交流や今後の連携の強化に繋がりました。

●上映会を開催してみて、いかがでしたか？

当初は会員に向けての開催を考えていましたが、最終的には一般の方や高校生・専門学生が多数参加するイベントとなりました。多くの方が認知症に対し理解したいという思いがあることを感じ、介護の現場に携わる者としては嬉しく心強いです。

●今後、上映会を開催される主催者の皆さんに向けて、メッセージをお願いします。

多くの方に見ていただける映画であり、学校の授業や企業での研修にも良いと思います。可能であれば原作者や当事者をお招きしてお話を伺う機会を設けると、尚充実した上映会になると思います。

ご担当者:高野 邦博さん